

# 2023年 秋のセミナー

保育・教育の現場でニーズの高いテーマについて、実践経験の豊富な講師陣がわかりやすくお伝えします。  
1つのテーマで1日3講義、じっくりと学びませんか？ 対面による開催です。

## 開催要領

2023年10月15日(日)	S7	困る行動への理解と対応
2023年10月22日(日)	S8	脳の働きをふまえた発達支援 — ワーキングメモリに焦点をあてて
2023年11月3日(金・祝)	S9	遊びを通して発達を促す — 生活動作、学習、コミュニケーションの力を中心に
2023年11月5日(日)	S10	発達障害・知的障害のある子の「感覚」への対応
2023年11月19日(日)	S11	指導に活かす発達の評価 — WISC-Vを中心に
2023年11月23日(木・祝)	S12	対人関係やコミュニケーションが苦手な子の理解と支援 — 特性理解をふまえた具体的な言葉かけ、関わり方

時間	受付 9:30 ~ 第1講 10:15~11:45 第2講 13:00~14:30 第3講 14:50~16:20
受講料	1日 各9,900円(税込) 正会員・賛助会員は、会員割引8,910円(税込) ※昼食代は含まれていません。
会場	東京ファッションタウン (TFT)ビル 東館9階研修室 〒135-8071 東京都江東区有明3-6-11 ※地図は裏面 最寄り駅：東京ビッグサイト駅(ゆりかもめ)徒歩1分、国際展示場駅(りんかい線)徒歩5分
定員	各120~160名(定員になり次第締め切ります)
お申し込み	Peatixよりお願いします。 <a href="https://peatix.com/group/11688302">https://peatix.com/group/11688302</a> ※原則としてクレジットカードによるお支払いとなります。 ※公費による銀行振込等の場合は、お問合せください。 ※社会状況等の変化により、中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※会場の都合により、会場での書籍等の販売は行っておりません。ご了承ください。
お問い合わせ	公益社団法人発達協会 〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800 ホームページ <a href="https://www.hattatsu.or.jp">https://www.hattatsu.or.jp</a> email <a href="mailto:mail@hattatsu.or.jp">mail@hattatsu.or.jp</a>

The Japanese Association on Intellectual and Developmental Disorder



<https://www.hattatsu.or.jp>

2023年10月15日(日)

S7

## 困る行動への理解と対応



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

さまざまな行動の問題。子ども自身も困っているかもしれない、という視点も。

発達障害・知的障害のある子が起こす行動の問題。周りも対応に苦慮しますが、実は子ども自身も困っているのかもしれない。子どもがどのように世界をとらえ、感じているのか、その感覚や認知の仕方を理解しつつ、行動を変えるために、どう関わればよいかを学びます。小児精神・神経科医の立場から考えられる「対応のコツ」についても…。

10:15~11:45	困る行動への理解と対応のコツ	広瀬 宏之(横須賀市療育相談センター)
13:00~14:30	行動改善を支援する関わり方	小嶋 悠紀(株RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS)
14:50~16:20	困る行動への支援の実際	熊 仁美(特定非営利活動法人ADDS)

2023年10月22日(日)

S8

## 脳の働きをふまえた発達支援 —ワーキングメモリに焦点をあてて



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

学術的なデータや現場での事例を通してお伝えします。

発達障害のある子どもたちは、脳の働きに偏りがあることが知られています。この偏りによって独特の個性を発揮する一方、日常生活のさまざまな場面で苦勞することがあります。見たり聞いたりした情報を一時的に記憶したり、その情報を操作したりする「ワーキングメモリ」も、脳の働きのひとつです。このセミナーでは、脳の働きをふまえた具体的な支援について、ワーキングメモリに焦点をあててお伝えします。

10:15~11:45	脳の働きから子どもを理解する—神経心理学の視点から	坂爪 一幸(早稲田大学)
13:00~14:30	ワーキングメモリとは	湯澤 正通(広島大学)
14:50~16:20	ワーキングメモリと学習の支援	湯澤 正通(広島大学)

2023年11月3日(金・祝)

S9

## 遊びを通して発達を促す —生活動作、学習、コミュニケーションの力を中心に



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

子どもも大人も楽しみながら、プログラムを進めましょう。

着替えや食事、学習等で道具をうまく使えずに困っている子どもがいます。また、相手の言っていることがわからない、自分の気持ちを伝えられないなど、コミュニケーションやことばについても同様です。大人は、できること、できないことを見極め、発達の道筋をふまえた支援の方法を考える必要があります。本セミナーでは、遊びを通して、楽しく学べるプログラムを紹介します。

10:15~11:45	生活動作を育てる遊び—作業療法の視点から	笹田 哲(神奈川県立保健福祉大学)
13:00~14:30	学習する力を育てる遊び—作業療法の視点から	笹田 哲(神奈川県立保健福祉大学)
14:50~16:20	遊びの中でコミュニケーション・ことばの力を育てる	原 哲也(児童発達支援事業所 WAKUWAKU すたじお)

2023年11月5日(日)

S10

## 発達障害・知的障害のある子の「感覚」への対応



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

本人以外にわかりにくい「感覚」の問題。理論をふまえた対応が大切です。

特定の音や触られることが苦手等、生活や学習のしにくさにつながる「感覚」の問題。まず周囲が学び、理解し、対応することが大切です。このセミナーでは、感覚統合療法によるアセスメントと支援を紹介します。また、不安や緊張が「感覚」の問題と関連しているとも言われます。活動を阻害しないために、動作法を参考にしたからだからのアプローチについてもお伝えします。

10:15～11:45	「感覚」の過反応と低反応	岩永 竜一郎(長崎大学)
13:00～14:30	「感覚」の問題への支援の実際	岩永 竜一郎(長崎大学)
14:50～16:20	不安や緊張にからだからアプローチする～動作法を参考に～	香野 毅(静岡大学)

2023年11月19日(日)

S11

## 指導に活かす発達の評価 —WISC-Vを中心に



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

検査の取り方ではなく、結果を解釈し、指導に活かす方法を学びます。

指導・支援を行う上で、知能検査は客観的な指標として活用されています。その解釈や活かし方には十分な知識と経験が必要です。このセミナーでは、最新のWISC-Vを取り上げ、結果に記載される用語、数値の意味を解説します。さらに、事例を通して具体的な現場への活かし方もお伝えします。子どもの学習やコミュニケーション特性の背景をとらえ、検査結果を指導・支援に活かすために。

10:15～11:45	WISC-Vの結果の読み取り方	大六 一志(公認心理師)
13:00～14:30	知的発達の遅れ、ことばの困難、視覚の困難への指導・支援	大六 一志(公認心理師)
14:50～16:20	応用力の困難、注意力・集中力の困難、読み書きの困難への指導・支援	大六 一志(公認心理師)

2023年11月23日(木・祝)

S12

## 対人関係やコミュニケーションが苦手な子の理解と支援 —特性理解をふまえた具体的な言葉かけ、関わり方



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

悪気のない行動の問題、目立たないけれど、気にかけておきたい行動は？

人の気持ちや意図がわかりにくいために起こっているのかもしれない不適応行動。対人関係やコミュニケーションに苦手さを持つ子どもは、その原因や背景に何があるのか？発達の特性を理解した上での対応が求められます。社会的コミュニケーションやルールの理解をどのように促すか、集団の中でできる具体的な支援についてもお伝えします。

10:15～11:45	不安や緊張と発達障害	渡辺 慶一郎(東京大学相談支援研究開発センター)
13:00～14:30	対人関係やコミュニケーションが苦手な子の特性	井澤 信三(兵庫教育大学)
14:50～16:20	教室でできる支援の実際	井澤 信三(兵庫教育大学)



# 会場 東京ファッションタウン (TFT) ビルへのアクセス

